

した。ユネスコ憲章を全員で読み、歌と鐘で平和をたたえる集いにしたいと思います。ぜひご参加ください。

一語法話①

親鸞さまは正信念仏偈の中で、釈尊が阿弥陀仏のことをお話しくださった尊さをお讃えされたうえで、その仰せにしたがうことの利益を三つ挙げられていることを前回までお話ししました。今回はそのまとめとしてのご文です。

弥陀仏の本願念仏は邪見・憍慢の悪衆生信樂を受持すること甚だ以て難し難の中の難斯れに過ぎたるは無し

『正信念仏偈』阿弥陀仏の本願念仏の法

四十八願について 第二願「不更悪趣」

親鸞さまが中心の經典とされた『仏説無量寿經』に阿弥陀仏となられる前の法蔵菩薩が、師仏である世自在王仏の前にて、全ての悩み苦しんでいる者を救いたいという願いを建てられたとあります。そこには中心の願いを表わすため

は、よしまな考えを持ち、おごり高ぶる自力のものが、信じることは実に難しい。難の中の難であり、これ以上難しいことはない。

仏さまの教えを聞いて「ああそうか」と得心したとしても、すぐ次の瞬間自力を起こし自分のことを棚に上げて、あいつが悪いやらこれさえなければいいのに、とか思ってしまう。

よくごぶべきことを見失い、愚痴や不満に舞い戻る、どこまでも凡夫であることから離れることはできません。まさに「信樂受持甚以難、難中之難無過斯」であります。

でもだからしかたない、とおっしゃられているのではありません。それほど底知れない悪衆生である私、信樂を受持することがきわめて難しい私であるからこそ、阿弥陀仏の本願念仏は

に、様々に言葉を尽くして四十八通りの誓いを重ねて立てられます。前回は第一願、無三悪趣の願をお話ししました。極楽世界を造るには地獄・餓鬼・畜生の三悪趣(道)に苦しんでいる者がいないようにしなければならぬ、との願いをはじめに建てられたのです。今回はそれに続く第二願、不更悪趣の願です。

一層私の上にはたつき続けてくださることの確かな証でもあることをおつしやり、ますます釈尊のお勧めくださる阿弥陀の教えが真実であることをお讃えくださっているのです。

一語法話②

先日私が担当した、志和組のテレホン法話の原稿を掲載いたします。

先日、ごども園の卒園式があり、十九名が卒園しました。なかには〇歳児から通園してくれた子もあり、思い出の写真スライドショーを保護者と見ながら、一番大きな成長期に関わらせていただいたことにあらためて喜びを感じさせていただきました。式中に泣き出す卒園児が何人かおり、別れの時を感じているようでした。

た。卒園したら次は小学校入学、新しい日常が始まります。またすばらしい出会いがありますことを願ってやみません。

親鸞さまが大切にされたお方、源信(942～1017)さまのお言葉を紹介します。

今幸いにして生まれ難い人間世界に生まれてきたが、この世界は常に移り変わる無常で偽りの世界、また執着から離れられず、苦し

み・悩む煩惱の世界でもある。しかしいま私は幸いに仏さまの教えを聞く機会にも恵まれた。この機を逃すことなく、苦しみを離れ、悟りの世界に至る道を歩むべきである

そして宝の山に入りて手をむなしくして帰るなかれ
のお言葉が続きます。
この「宝の山」とは、人

たとえわれ仏を得たらんに、國中の人天 寿終わりて後に また三悪道に更らば正覺をとらで

この願で「寿終の後」とあるのは、仏のはたらきに出あつて浄土に生まれる身となった「國中の人天」が、浄土を去るべき時が来て菩薩として他方仏国に行くことです。それは菩薩と

間に生まれ、仏さまの教えを聞く機会に恵まれている我が計らいを超えた幸せをさしています。せうかくこれ以上ない出会いに恵まれていながらそれに気づくことなく、ただ執着に終始し欲に振り回され続ける、または苦しみ



合同墓・墓地案内
有縁の皆さんでおまもりしている合同墓と一般墓地です。ご相談ください。

妙徳寺ホームページ
<http://myotoku-ji.sakura.ne.jp/>



仏さまと一緒の人生であつてほしいと思います。もちろん私もつうりたいと思つていることなのです。



ごども園でたくさんの思い出の宝を手にした子どもたち、この先も手を合わせ人を尊び、お礼を言い素直に話を聞くことを心がけて

ます。

(次号へ続く)
記事・玉田義幸、住職



志和組テレホン法話「みのりの電話」

しじゅうさんざん しくはつく
082-433-4989

4月 1日～	長松寺	中田 輝道
4月 11日～	西方寺	安國 智乗
4月 21日～	寿福寺	田中 真生
5月 1日～	浄蓮寺	沼田 典生
5月 11日～	西方寺	安國 晴子
5月 21日～	天龍寺	天野 由昭
6月 1日～	妙徳寺	大江 了証
6月 11日～	報専坊	松島 純以
6月 21日～	天龍寺	天野 由紀子

志和、八本松川上地区の本派寺院13カ寺のテレホン法話です。3分程度のお話を24時間いつでもお聞きいただけます。ぜひ、電話でもお聴聞してください。

「写経の会」

4月 25日 (金) 5月 23日 (金) 6月 27日 (金)
それぞれ午後2時より
申し込みは 代表_西本さん(428-2466)、または妙徳寺へ

「生きていくための仏の教え仏教基礎講座」

4月 12日 (土) 5月 10日 (土) 6月 14日 (土)
それぞれ午後2時より
申し込みは 代表_廣川さん(428-5935)、または妙徳寺へ

「妙徳寺仏教壮年会例会」 (原則毎月第2土曜日)

4月 12日 (土) 午後6時より 定例会
5月 10日 (土) 午後6時より 定例会
6月 14日 (土) 午後6時より 寺報編集会議

「書道教室」

ホームページ内の「行事カレンダー」に稽古日を掲載しています。妙徳寺LINEでも随時お知らせいたします。(毎月3回程度の金曜日 午後2時半～午後5時の間)

※金谷雷聲先生(奮門会)による幼児・児童・大人対象、硬筆・毛筆教室です。申込は金谷先生FAX0823-82-9565 または妙徳寺へご連絡ください。



「おみのりサロン」開催予定日

4月 15日 (火) 5月 22日 (木)
6月 18日 (水) 午後2時より1時間半
(住職が本堂に待機、相談をお受けします)